

ながぬま



第25回通常総代会開催

『すべての議案が承認される』



第25回ながめま農業協同組合通常総代会



議長団挨拶（左：27区嶋田氏、右：18区林氏）

- ◆◆◆ 決算報告 ◆◆◆
平成30年度貸借対照表、損益計算書、および注記表並びに全国監査機構の監査及び監事の監査報告について
- ◆◆◆ 提出議案 ◆◆◆
議案第1号 平成30年度事業報告、剰余金処分案の承認について
議案第2号 平成31年度事業計画の設定について

- 議案第3号 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 議案第4号 固定資産の取得について
- 議案第5号 役員報酬の支給について
- 議案第6号 役員の選任について
- 議案第7号 会計監査人の選任について
- 議案第8号 退任役員に対する役員退任慰労金の支給について
- 議案第9号 定款の一部変更について
- 議案第10号 (規約付属書) 監事監査規程の一部変更について
- 議案第11号 農業振興計画・農協経営刷新中期計画の策定について
- 議案第12号 農産物の検査について、農産物検査法に基づく検査の請求、並びに農産物の検査抽出試料の代理受領及び処分に関する一切の権限を組合に一括委任することについて



- ◆◆◆ 報告事項 ◆◆◆
①労働保険事務組合の平成30年度徴収・納付状況の報告について
②「JAバンク基本方針」の変更について
③子会社の決算報告について

来賓

- 長沼町 町長 戸川 雅光 様
- JA北海道信連岩見沢支所 支所長 岡本 幸一 様
- JA北海道中央会岩見沢支所 主幹 桑原啓史郎 様
- ホクレン岩見沢支所 次長 佐藤 慶之 様
- JA共済連北海道本部岩見沢支所 岩見沢自動車損害調査サービスセンター長 田口 哲史 様
- 空知農業改良普及センター 空知南西部支所 支所長 関崎 雅行 様
- ながめま土地改良区 副理事長 山本 仁 様
- 北海道中央農業共済組合 理事 窪田 秀治 様
- 長沼町商工会 会長 廣川 朝夫 様
- 産業振興課長 宇野 智幸 様



戸川町長よりご挨拶

第25回総代会は、戸川町長をはじめ各連合会や関係機関から多数の来賓にご出席をいただき、議長団に18区林雅英氏、27区嶋田貞信氏の両総代を選出し、平成30年度事業報告と平成31年度事業計画、農業振興計画、農協経営刷新中期計画の策定、会計



柴田専務によるJA綱領朗唱

監査人の選任、さらには任期満了に伴う役員改選などの議案について慎重に審議され、すべての議案が承認されました。また、「JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取組みに関する特別決議」が満場一致で決議されました。

4月5日 長沼町民会館において
第25回通常総代会が開催される

会長理事 就任挨拶



内田 和幸

組合員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年の農作業も順調に進んでいることと思いますが、本年が昨年のような災害のない豊穣の秋を願うところでもあります。

この度の第25回通常総代会において役員を選任議案を可決決定いただき、同日開催の理事会において理事各位のご推挙により再び会長理事の重責を担うことになりました。あらためて責任の重さを痛感し、全力で責務を果たすべく心を新たにしているところであります。

さて、私はホクレン農業協同組合連合会代表理事会長の立場を合わせて仕事をさせていただいておりますが、ホクレンは4月に創立100周年を迎えました。創業以来、生産者同士が助け合う協同組合精神のもと、組合員の皆様の経営と生活を守り、また、道産農畜産物を安定して消費者の皆さまに提供することを通じて、北海道農業の発展に向けた事業に取り組んでまいりました。

重さを痛感し、全力で責務を果たすべく心を新たにしているところであります。

農業取り巻く環境では、国際貿易のTPP11、日EU、EPAの発効や新たな日米間の物品貿易交渉が開始されるなど、国内農業への圧力が絶えない状況にあります。

また、昨年11月に第29回JA北海道大会が開催され、JAグループの意志を結集し、組織・事業機能の強化を図るべく、3か年毎に開催しておりますが、JAグループ北海道が農業・JAをめぐる諸情勢に対応し、目指すべき将来ビジョン「道民550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』を実現」するため、グループ全体で共有すべき課題及び重点取組事項を決議されました。

JAグループ北海道の会員JAとして、農業経営の安定と暮らしの安心を確保し、地域農業の振興・発展に向けて、新たな自己改革へ取組みしていかねばなりません。協同組合として組合員や利用者のみならず地域住民や消費者からの強い信頼が経営の基礎となっております。

組合員の皆様がなごま農業協同組合に結集され、共に知恵を出し合い持続的な農業の確立に向かって役員一丸となつて誠心誠意努力する所存でありますので皆様の特段なるご指導ご鞭撻をよろしく申し上げますとともに組合員各位のご健勝と豊穣を祈念しご挨拶いたします。

今日に至るまで、先人の知恵とたゆまぬ努力のもと、幾多の困難を乗り越えてきましたが、昨今の食をめぐる世界的な需給の変化や国際貿易協定の新たな動き、また一方で深刻な労働力不足や過疎化・高齢化による地域インフラの確保の問題など、北海道農業を取り巻く環境は大きく変化しており、さらには、地球規模での異常気象が常態化し、過去には考えられない災害が発生するなど、厳しさが増す状況にあります。

このような背景のなか、ホクレンに求められる役割の幅は広がっており、あるべき姿を模索して挑戦を続けていくとともに、こういつた時代だからこそ創業時の思いである相互扶助の精神を決して忘れることのないよう、この100周年を機に、改めて決意を深める思いであります。

北海道は日本の食料基地という重要な使命を担っており、北海道農業を守るとは日本の「食」を守ることにほかなりません。「食」は私たちの命を支えるものであり、また、「食べる」ことは、私たちの心を育み、豊かな文化を創造する源となります。そのことから農業は非常に意義深く、誇りある仕事であり、生産者の皆さまがこの仕事を全うするためホクレンはその役割を果たしていかなければなりません。次の100年に向けて、我々農業者・JAグループがその責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく力を合わせていくとともに、農業・

専務理事 就任挨拶



柴田 佳夫

今回の総代会において、役員改選が行われ理事に再選任され、同日開催の理事会で専務理事を拝命し、その重責を担うことになりました。あらためて責任の重さを感じ身の引き締まる思いであります。

近年の農業を取り巻く情勢はめまぐるしく変わりTPPなどの発効で、生産現場では政治不信や不安を抱えております。今後組合員と共に持続可能な農業の実現に向け取組んでいかなければなりません。

JAでは平成33年度を目標とする農業振興計画を策定し、テーマを「次代へ継承する長沼農業」農業者の所得増大と豊で魅力ある地域づくり」を掲げ、地域農業を支える担い手の確保と育成、農業所得増大とコスト低減の取組みを推進し、組合員の「営農と暮らしの窓口」として多様なニーズに応えるとともに、地域に密着した事業展開によって組合員・地域利用者から高い満足度と信頼を得られるよう取り進めてまいります。

JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

組合員の所得向上を最重要課題とし、その課題に向かって役員一丸となつて誠心誠意努力する所存でありますので皆様の特段なるご指導ご鞭撻をよろしく申し上げますとともに組合員各位のご健勝と豊穣を祈念しご挨拶いたします。

代表理事組合長 就任挨拶



成田 正夫

組合員の皆様におかれましては、本格的な移植は種作業等何かとお忙しいことと思います。今後も好天に恵まれ順調に農作業が進むことを願っております。

この度の第25回通常総代会において役員を選任議案を可決決定いただき、同日開催の理事会において理事各位のご推挙により代表理事の重責を担うことになりました。あらためて責任の

組合員皆様の農協に対する期待の大きさ、役割の重要さを十分に受け止め、組合員・役員が意識をひとつに結集され、長沼農業発展に全力を尽くしてまいり所存でありますので、今後さらなる組合員皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

常務理事 就任挨拶



飛谷 博秀

この度、総代会で学識経験理事に選任され、同日開催の理事会にて常務理事（信用担当）を拝命、就任いたしました。あらためてその責任の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

今日の農業・JAを取り巻く環境は、農協改革、国際貿易交渉の合意発効など、農政の転換が行われ、将来の方向性を左右する大事な局面を迎えております。また、この3年間の実践期間のうちに、本年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限や、令和3年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えます

が、改革は自ら行うものとして、「農業者の所得増大と豊で魅力ある地域づくり」の実現に向けて、JAグループ北海道が一丸となって自己改革を進めてまいります。

一方、農協運営につきましては、組合員・利用者の満足の向上による事業伸長に向け現場力の強化を図り、個々の事業の専門性を高めて系統機関との事業連携を図り総合性の発揮に取組んでまいります。

このような状況から会長、組合長、専務の下に役員一丸となり、農家経済向上のため専心努力いたす所存でございますので、組合員皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご就任のご挨拶といたします。

理事 就任挨拶



服部 正幸

信頼され希望の持てるJAを目指し、組合員皆様の意思を反映した健全な経営を維持するよう努めてまいります。



小野 功

組合員皆様の営農と生活を支援する組織として、新しい考え・創意工夫を実践し地域の農業振興と事業推進に取組んでまいります。



川口 学志

組合員皆様のさらなる所得の向上とそれをしつかりサポートできる健全な農協運営に向け、努力してまいります。



福島 幸二

長沼農業の発展のために、誠心誠意努力いたす所存でございますので、ご指導ご協力賜りますようお願いいたします。



越路 昌隆

組合員皆様のご期待に添うべく力を尽くしてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



石尾 大介

組合員皆様から信頼される農協運営と長沼農業発展に尽力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



松井 昭洋

組合員皆様の農家経営向上のため努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



健名 和哉

厳しさを増す農業情勢ですが、組合員皆様のご期待に沿えるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

代表 監事 就任挨拶



川崎 喜昭

この度、第25回通常総代会において、任期満了に伴う役員改選で監事に選任され、同日開催

の監事会において代表監事に就任いたしました。あらためて、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

本年より年号が平成から令和と変わり、新しい時代を迎えようとしているところであります。その変遷の中においてJAを取り巻く環境は、TPP協定を始めとする国際貿易交渉の開始や、近年多発する天候不順と地震による災害などにより順風満帆とは言えない状況にありますが、我々は自己改革を確実的また継続的に実践し、JAの理念である相互扶助の精神を軸にしながら、力強い農業を未来につなぐため、若い後継者が新たな発想の取組みで活躍できるような環境を作ることが必要と考えます。

当JAでは、農協法の改正により本年度より公認会計士監査が実施されますが、監事会での監査も今まで以上に重い責務が課されることとなり、会計監査人の評価に耐えうるよう、コンプライアンス態勢整備状況をはじめ内部及び経営統制の整備・運用状況など経営全般の見地からの監査を実施し、業務の執行状況の精査をしてまいります。

また、地域社会に貢献しながらJAの益々の発展を目指し、もとより微力ではありますが、真摯に業務にあたる所存でありますので今後ともなお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

常勤 監事 就任挨拶



松本 豊

新緑の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度第25回通常総代会におきまして、不肖私が学識経験監事のご承認をいただき、同日に開催された第3回監事会において、常勤監事を仰せつかりました。もとよりそのような器ではありませんが、昭和54年旧長沼町農業協同組合に奉職以来、40年間職員として勤めさせていただきました経験を生かしながら、組合員の負託に応えるながめま農協の持続的発展に微力ながら寄与してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

近年、農協を取り巻く環境は大きく変化しており、特に本年は農協法の改正に伴う公認会計士監査制度への移行初年度となります。監事監査の役割も変わって益々責務が重要になってまいります。また、組合員の信頼に支えられ、自らの資質向上のために自己研鑽につとめ、役員との意思疎通を図り、業務

ながぬま農業協同組合役員名簿

(平成31年4月10日現在)

区分	氏名	就任年月	専門委員会		子会社役員	子会社経営協議会委員
			総務・経対	営農	FAMO長沼	
会長理事	内田和幸	平成13年4月	委員			委員
代表理事組合長	成田正夫	平成22年4月			代表取締役社長	委員
専務理事	柴田佳夫	平成25年4月			取締役	委員
常務理事	飛谷博秀	平成28年4月				委員
理事	服部正幸	平成28年4月	委員長			委員
理事	小野功	平成28年4月		委員長		委員
理事	川口学志	平成27年4月	副委員長			委員
理事	北弘治	平成28年4月		副委員長		委員
理事	福島幸二	平成31年4月		委員		委員
理事	越路昌隆	平成31年4月	委員			委員
理事	石尾大介	平成31年4月	委員			委員
理事	松井昭洋	平成28年4月		委員		委員
理事	健名和哉	平成31年4月		委員		委員
	(13名)					
代表監事	川崎喜昭	平成28年4月			代表監査役	委員
常勤監事	松本豊	平成31年4月			監査役	委員
監事	大橋敏央	平成31年4月			監査役	委員
員外監事	中原久勝	平成31年4月				委員
	(4名)					

の執行状況やコンプライアンスの取組み、内部統制の方針・運用状況などについて監査し、組合の健全性を確保し、組合員及び地域から信頼される組織の維持発展に寄与してまいりたいと思っております。

昨年は台風や地震により大きな被害を受けたところがありますが、その災害を乗り越え本年は既に春耕期本番を迎えております。今年一年ご家族皆様ご健勝で豊稔の出来秋を迎えられますようご祈念申し上げ就任のご挨拶いたします。



監事 就任挨拶



大橋 敏央

ながぬま農協のために、微力ではございますが監事として頑張りますのでよろしくお願いたします。



中原 久勝

員外監事としてその責任の重さを痛感いたしつつ、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、職責を果たしてまいりたいと存じます。

常勤監事 退任挨拶



仲山 幸雄

組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私ことこの度、4月5日に開催されました第25回通常総代会をもちまして、役員の任期満了により常勤監事を退任いたしました。

顧みずと平成25年4月に縁あつてながぬま農協の常勤監事として選任いただきましたから、2期6年に亘り、農協運営の健全化と信頼される農協の実現のために微力ながらその任に当たらせていただきました。お蔭様で常勤監事の職

責に大過なく努めを終えることができましたのも、組合員並びに役員皆様のご支援の賜物と心から感謝とお礼を申し上げますのであります。

さて、農協を取り巻く環境は大きく変化しており、農業者の高齢化や後継者不足、異常気象による災害の発生など課題が山積しております。また、農協法の改正に伴う公認会計士監査制度への移行など監査環境も変わってまいります。

今後ながぬま農協が組合員に必要とされる組織として、新体制のもと役員一体となって地域農業のさらなる発展に寄与されますようご期待を申し上げます。

最後になりますが、組合員並びに役員皆様方への感謝と長沼農業の益々のご発展とながぬま農協の益々のご隆盛をご祈念申し上げます。退任の挨拶いたします。大変お世話になりました。



ホクレン柿林副会長 来組される

去る、3月28日農協会議室において、ホクレン柿林副会長・箱石常務ほか米穀担当職員が来組され、平成31年度以降の米の面積確保について、成田組合長ほか常勤役員と意見交換をされました。

米の面積については、全道的にも様々な要因から減少傾向となっていることから、田畑輪換や疎植による省力・抵コスト栽培による面積拡大について意見交換し、ホクレンに対して水張り確保にむけた支援策を検討いただく要請をいたしました。



(右から) ホクレン 柿林副会長・箱石常務・西方岩見沢支所長



ゆめまおい 新酒誕生！純米吟醸酒『夢馬追』

4月20日、札幌パークホテルで開催された札幌ふるさと長沼会の創立30周年記念総会・親睦会において、純米吟醸酒『夢馬追』のお披露目をおこないました。日本酒の製造は小樽市の田中酒造(株)様に委託し、原料米は長沼産「ゆめぴりか」を100%使用したフルーティーでまろやかな長沼町の地酒が誕生いたしました。

当町の「ゆめぴりか」は、平成29年度の空知管内ゆめぴりかコンテストにおいてグランプリを獲得しており、長沼産米の食味が高い評価をいただいたところであり、さらなる価値向上と特産品開発により長沼町がますます発展することを願い、日本酒の製造を企画いたしました。

当日、柴田専務より「夢馬追」誕生の経過説明と田中酒造岡田専務様からは「すばらしい原料米から製造したことにより、香り豊かなすっきりした味わいの大変美味しいお酒ができました」との説明をいただきました。乾杯に「純米吟醸酒 夢馬追」とその酒粕から製造した「夢馬追の甘酒」をご使用いただき、札幌ふるさと長沼会の会員皆様からの「美味しい、美味しい」との囁きが会場内を包み、大変好評をいただきました。

A-COOPながぬま店にて数量限定販売となっておりますので、ご購入はお早めに！！



店頭価格
「純米吟醸酒 夢馬追」720ml/本 1,700円(税込)
「夢馬追の甘酒」510g/本 600円(税込)

盛大な『鏡開き』を執りおこないました。
左から、田中酒造岡田専務、戸川町長、池下札幌ふるさと長沼会会長、成田組合長、平井長沼町議会議長、八重樫東京ふるさと長沼会会長、内田会長、森下観光協会会長



「夢馬追」お披露目をおこなう田中酒造岡田専務様(左)と柴田専務(右)



浜中漁協女性部 『特産品即売会』開催

浜中漁協女性部が4月5・6日の日程で来組し、交流及び特産品の即売会を開催いたしました。

当日は浜中の大漁旗を店頭になびかせ、旬を迎えているホッキ貝やモガニ、浜中女性部の昆布巻きや昆布加工品などが店頭に並べられると、お目当ての品を求めてたくさんの方が並ばれていました。



毛ガニや花咲ガニ、大粒のホッキ貝はやはり人気があります。完売となりました。浜中女性部特製の花咲ガニがたっぷり入った「てっぽう汁」は、時折雪の降る寒い日に温まる一杯となりました。

JAながぬま女性部 中川参与 JA空知女性協議会 会長理事に再任

この度、16区中川苗保子氏が、JA空知女性協議会通常総会において、会長に選任されました。

JA女性組織では、「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」をテーマに、JA女性組織がJAと地域の懸け橋となり、地域で何が出来るか考え、互いに協力しながら活動し自らも輝くことを目標に取り組んでいます。

中川参与におかれましては、JAながぬま女性部にご助言をいただき、ありがとうございます。空知というフィールドでもご尽力いただき、ありがとうございます。



中川 苗保子 氏

小麦起生期現地研修会

4月4日、小麦起生期現地研修会が町内4か所で開催されました。



普及センターの岡野専門普及指導員、農協の村井営農コンサルタントより、茎数の確認による起生期追肥の目安や起生期以降の生育状況による追肥、今後の防除体系等について、また、透排水性改善と化学

性改善等について説明がありました。生産者からも多くの意見・質問が出された有意義な研修会となりました。次回、7月に希望地区にて「大豆マメシロイガイガ防除について」現地研修会を開催いたします。



カッタドレーン実演会

4月10日、生産者ほ場にて無資材暗渠機「カッタドレーン」の実演会を実施しました。



カッタドレーンはトラクターに装着し走行するだけで、迅速・簡単に無資材暗渠を施工することが可能です。普及センターが町内で昨年実施した試験において、カッタドレーン工法がほ場の透水性改善に有効であることが確認されています。透水性を改善することにより、作物の湿害回避と適期作業の実現が期待できます。

カッタドレーンは株式会社FAMO長沼（機械センター）にてレンタルを実施しております。【カッタドレーンの申し込み・お問い合わせ】株式会社FAMO長沼 88-2366

JA全農新採用職員 農協での実習を終了

4月8日から23日まで、本年度のJA全農新採用職員の農協実習がJAで行われ、3名の方が各部署で多岐にわたる農協業務を体験しました。

4月15日からの6日間は農家実習を行い、5区北弘治宅では、種いも切りや籾播き作業を行いました。実習を終え「北海道の農業を体感出来て、貴重な経験になった」と話していました。農業の現場での体験が、今後の全農の業務に生かされることを期待しています。



異業種交流 フロレスラーが農業体験

4月18日、24区窪田秀樹宅にて、大日本プロレスの岡林選手と橋本選手が農業体験を行いました。

ビニールハウスを見学した後、籾播き作業を体験しました。選手からは「プロッコリーの苗の小ささに驚いた」、「米の種を初めて見た」など、普段接することのない農業に興味津々でした。また、トラクターやコンバインなどに乗りこみ、大きな機械に興奮していました。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は、平成31年4月12日、札幌駅・地下歩行空間で開催された「JPO1まつり」で食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジェイエイジャンプ）」のダウンロードキャンペーンブースを出展し、400名を超える方々にダウンロードいただきました。

「JPO1まつり」はフリーマガジン「JPO1」に掲載された企業・団体が中心となり出展するイベントで、道内から4JA・1連合会が出展しました。

「JA2MP」配信開始から2年が経ちましたが、ダウンロード総数は20138（4/12時点）となり、2万ダウンロードを突破しました。



JA北海道信連

JAバンクでは、子どもたちに食や農業の大切さを理解してもらうきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1059校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会 教育長（写真右）へ贈呈



ホクレン

ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対象にした北海道ナチュラルチーズ特別セミナーを札幌グランドホテルで開催し、道内チーズ工場の生産者による講演やナチュラルチーズの特長を生かした料理の実食、盛り付けの専門家によるデモンストレーションなどを紹介し、道産チーズの魅力伝えました。講演では北海道産チーズのレベルの高さや、それを維持していくことの大切さなどが解説され、試食会では道内工場のチーズをふんだんに使った料理レシピ5品が紹介され、ナチュラルチーズの豊かな風味がPRされました。



JA共済連北海道

JAのこども共済「学資応援隊」がママリ口コミ大賞2019春 学資保険部門 第1位に選ばれました。

「ママリ口コミ大賞」とは、ママ向けアプリ「ママリ」がユーザーを対象に「本当に買ってよかった」と思う商品・サービスについてアンケートを実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。JA共済連は、これからもお客様にご満足いただけるように努めてまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



令和元年度 農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、産業廃棄物に指定されており、その処理は農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。農業用使用済プラスチック適正処理に、ご理解の程よろしくお願いいたします。

1. 受入日程 2019年6月11日(火)～13日(木)

	ビニール類	プラスチック類	
	11日(火)	12日(水)	13日(木)
午前	1区～16区	1区～8区	17区～24区
午後	17区～31区・市街地	9区～16区	25区～31区・市街地

2. 受入場所・時間 麦バラ調整施設構内（トラック1台毎に計量）

●ビニール類▶8:30～15:30 ●プラスチック類▶8:30～15:30

3. 回収物

農業用廃ビニール類	農ビ・農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ ※上記以外の物は受入できませんので充分注意願います
農業用廃プラスチック類	※フレコン・苗箱・農業容器(洗浄済み)・ネット類・糸入りホース ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ 発泡スチロール・FRP(繊維強化プラスチック)

4. 処理代金

農業用廃ビニール類	18円/kg(消費税別)
農業用廃プラスチック類	32円/kg(消費税別)

※取引口座(クミカンまたは普通貯金)で支払いいただきます。

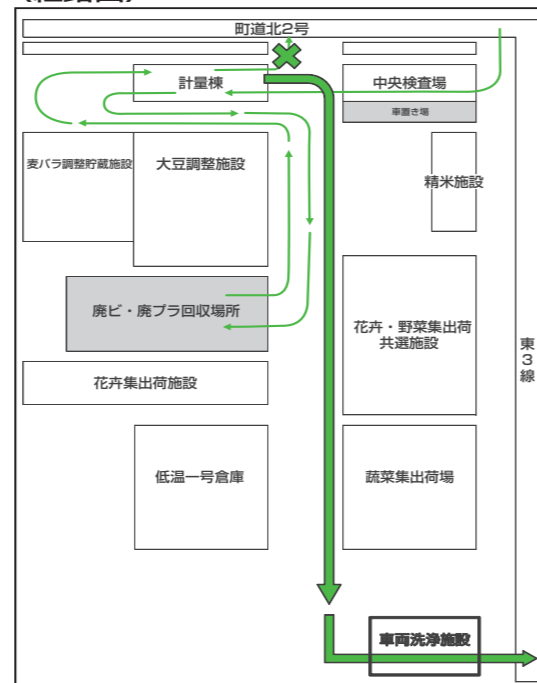
5. 助成金

- 長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。(JAも長沼町と同額を助成。)
- 助成金の支払いは、2回目の回収(11月末予定)が終了し、年間処理量が確定した後(12月頃)となります。

6. その他

- 麦バラ調整施設構内に車両洗浄施設を設置しております。廃ビニール等を回収し空車計量後かならず車両洗浄機を通過し退場をお願いします。(詳細経路図)
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて、「産業廃棄物処理委託契約締結に関する事務」の委任状の事前提出が必要となります。営農部営農企画課まで提出をお願いします。

〈経路図〉



～廃ビ・廃プラ回収時注意点～

- ・フレコン袋は「廃プラスチック類回収日」の受け入れとなります。
- ・フレコン袋の中に廃ビニール類は一緒に入れないようお願いします。
- ・農ビ(P.O除く)は、降ろす場所が異なるため、分別して車両に積載してください。
- ・塩ビパイプなど長さがあるものは、1m以内で切断してください。
- ・農薬の容器類は必ず水洗いしてください。透明なビニール袋(穀用ポリ袋など)に入れ、マジックで氏名を記入してください。
- ・ラップ類に牧草など付着している場合は回収できません。

お問い合わせ先 : ながめま農協 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

令和元年度 地区担当職員ご紹介

農産物の出荷・推進など皆様の地区にお伺いする担当者です。よろしくお願いいたします。

令和元年5月1日

区	担当者	区	担当者
1	藤村 弘幸 ・ 奥 紘稀	18	福井 一司 ・ 三上 宗佐
2	山本 大介 ・ 中辻 正樹	19	高嶋 良幸 ・ 森糸 克明
3	成田 伸彦 ・ 水口 修一	20	小西 伯泰 ・ 山澤 啓太
4・北市	大波 貴裕 ・ 鳥井 純平	21	松村 裕二 ・ 高橋 雄也
5	岩崎 徹 ・ 根井 勝美	22	今村 大樹 ・ 山本 健輔
6	清水 大地 ・ 富田 雄飛	23	高田 久士 ・ 道順 文哉
7	山口 智礼 ・ 笹森 雅彦	24	久保 敦 ・ 山本 直樹
8	倉 誠司 ・ 高崎 将史	25	仁和 貴也 ・ 安藤 聡志
9	安藤 健 ・ 早川 直輝	26	富澤 和幸 ・ 小野寺 琢杜
10	大屋 寛 ・ 堀川 晶	27	氏家 真吾 ・ 福田 康伸
11	大和田 健 ・ 長田 孝一郎	28	高瀬 智徳 ・ 鰐淵 陽祐
12	谷口 公一 ・ 新納 敬二	29	高瀬 好之 ・ 千原 直樹 桂 栄一郎
13	森 正敏 ・ 岩城 和也	30	細川 秀樹 ・ 北川 絢伍
14	波川 浩己 ・ 佐藤 勇太	31	工藤 征貴 ・ 富澤 淳也
15	山村 範人 ・ 八巻 恭大	市街	細川 悦朗 ・ 遠藤 裕明
16	松本 亮介 ・ 藤本 勉	合計	65名
17	澤谷 優一 ・ 松本 渉		

『地上』は青年農業者の“声”をたいせつにします。全国の盟友たちと『地上』を通してつながろう!!

定価(税込)
●普通月号 600円
●10月号(12月号より1810円)
●11月号(11月号) 1680円
●2020年4月号より680円

お申し込みはお近くの本・支店(所)へ

JA自己改革

に役立つ情報満載!

- 若手農業者のリアルな声を届けます
- 農業情勢 & 農業政策をわかりやすく解説
- JAグループが進める創造的的自己改革の意味と重要性が理解できる
- 同世代女子の農業にも注目

別冊付録
年2回(4・11月号)
1つのテーマを掘り下げて解説。理解を深めます。
JA青年組織の学習会テキストに最適。

お問い合わせ 営農部営農企画課 ☎88-2232

食と農のウェブマガジン「pikkari(ピッカリ)」では、『地上』に登場した青年農業者たちを紹介しています。また、読者と編集部が交流するフェイスブックも開設しています。

05 暮らし

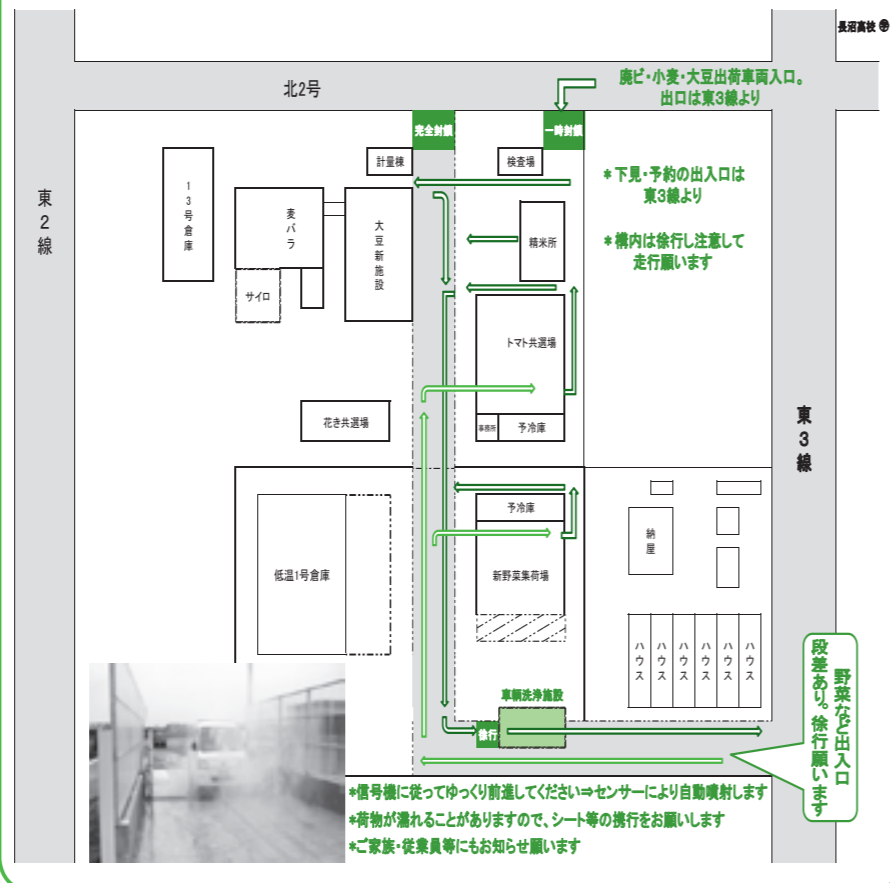
平成30年も
5月です
5月が過ぎました

種播きは
天気良くて
5月は準備万端

5月からは
令和です
令和です

平成30年から
令和0年まで
5月からは
令和です

車両洗浄施設の利用について (5月13日(月)より稼働します)



*番号機に従ってゆっくり前進してください⇒センサーにより自動噴射します
*荷物が濡れることがありますので、シート等の換行をお願いします
*ご家族・従業員等にもお知らせ願います

野菜倉出入口
段差あり徐行願います

令和元年度 トラクター作業等基本協定料金表

この料金は、30a 1筆のほ場で作業した時を基本とした料金ですので、特殊な土壌条件、作業の程度等による条件がある場合は双方で協議のうえ、決定してください。

(消費税別)

作業区分	作業機	対象	単位	料金(円)	作業機のみ(円)	備考	
土壌改良	ソイルクランブラー	田・畑	10a	1,200	300		
	プラソイラー	田・畑	〃	1,800	400		
	サブソイラー	田・畑	〃	1,800	250	平均2m間隔	
	レーザーレベラー	田・畑	1時間	10,400			
	モミサブロー	小型 中型 大型	田・畑 田・畑 田・畑	1m 〃 〃	14 16 18	7 8 9	クローラトラクター使用
耕起・整地	プラウ耕	田 畑	10a 〃	2,000 1,800	500 500	転作を含める	
	ロータリー耕	田	〃	2,500	800		
	ロータリー碎土	田 畑	〃 〃	2,000 2,000~4,000	800		
	アッパー・ロータリー	畑	〃	2,500~4,500	1,000		
	パワーハロー	畑	〃	2,500	800		
	スタブルカルチ	田・畑	〃	1,800	300		
	代掻き	田	〃	2,000		条件により別途協議	
散布	融雪材散布機		〃		500	散布材により単価協議	
	マニアスプレッター	牽引式 自走式	田・畑 田・畑	〃 〃	1,600 2,000	500 500	2~3t積、積み込みは別 10a当たり1台 3t積
	ブロードキャスター	田	〃	550	150		
中耕・除草	施肥カルチ	田	〃	700	300		
	ロータリーカルチ	田	〃	1,300	700		
は種・移植	田植機	田	〃	4,000	3,300		
	グレンドリル	畑	〃	1,300	700		
	プランター	畑	〃	1,500	700		
	ビート移植機	畑	〃	3,500	2,000	補助作業員は別途	
	玉葱移植機		〃	2,400			
防除	ブームスプレーヤー	田 畑	〃 〃	1,300 1,000		補助作業員は別途	
	無人ヘリ		〃	953		薬剤代は含まない	
収穫・刈取	コンバイン	稲 秋麦 春麦 豆類	〃 〃 〃 〃	8,500 6,300 5,800 6,300		1筆 40a以上 8,000円 補助作業員、移動トレーラーは別 雑草繁茂ほ場に、別途1,600円加算 小麦の低刈を希望される方は、別途1,600円加算	
	ビートハーベスター	畑	〃	4,500	2,500	搬出作業は別途	
	オニオンハーベスター		〃	10,000			
	モアー		〃	1,700	700		
	テッター		〃	600			
	レーキ		〃	600	200		
	自走式レーキ		〃	1,200			
	ベラー	田・畑	梱包	〃	150		糸代含む
梱包	ロールベラー	秋作業 春作業	〃 〃	1,200 1,500		直径 120cm 糸代含む	
			〃	1,500		直径 120cm 糸代含む	
			〃	1,500		直径 150cm 糸代含む	
その他	トラクター	40~60PS 60~80PS 80~100PS	1時間 〃 〃	5,900 6,500 7,100	3,700 3,900 4,200		
	クローラトラクター	80~100PS 100~140PS 140PS以上	1時間 〃 〃	7,800 8,600 9,400	4,900 5,200 5,500		
	鎮圧ローラー	畑	10a	600	200		
	畔塗機		1時間	1,500	500		
その他	ストローチョッパー	2.1m	10a	1,400	500		
	トレーラー運搬料		1回	3,000		片道運搬料の価格	

家の光 毎日の暮らしをいきいきさせる いま読みたい記事がいっぱい!

食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン

デザインを一新して、さらに読みやすく使いやすくなりました

毎月3大特集

- お金を呼び込む暮らし方
- 招き猫
- お尻体操

手芸 & 健康

JA自己改革や協働のたいせつさを伝える記事もわかりやすく! 全国の地域情報も掲載

※6回別冊付録が付きます

家光	誌代(税込)	2019年11月号まで	2019年12月号より
普通月号		617円	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)		906円	922円
家計簿付き12月号		1,008円	1,027円

※消費税税率変更により、2019年12月号より定価を改定します。

お問い合わせ 営農部営農企画課 ☎ 88-2232

理事会報告 - 第4・5回 -

《平成31年4月5日開催》

[議案]

第1号 会長理事、代表理事、常勤理事の選任について

[報告事項]

1. 会議行事予定について
2. その他

《平成31年4月10日開催》

[議案]

第1号 専門委員会構成について

第2号 役員の席順決定について

第3号 平成31年度各理事の報酬額の決定と支給方法、支給時期について

第4号 退任理事に対する役員退職慰労金の支給金額、支給方法、支給時期について

第5号 子会社役員(監査役含む)・経営協議会委員の選任について

第6号 各協議会などの農協役員の選任について

第7号 平成31産農産物予約金(契約金)の設定について

第8号 信用の供与等の決定について

第9号 組合員の出資金減口について

第10号 固定資産の取得について

[報告事項]

1. 会議行事報告事項について
2. 平成30年度(一社)北海道農協経営審査協会の内部審査報告について(1・2月実施分)
3. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,638名
 正組合員 (859名)
 准組合員 (779名)
 正組合員戸数 722戸

農協の動き 3/23~4/10

3月

23日	第1回グリーンパートナー交流会	於	札幌市内ホテル
25日	空知管内JA組合長会議	於	空知農業会館
27日	年金友の会通常総会	於	長沼町民会館
28日	総代会事前説明会	於	農協
28日	ホクレン 米流通意見交換会	於	農協
29日	職員退職辞令交付	於	農協
29日	トラクター作業料金等基本協定料金設定会議	於	農協
29日	営農集団協議会総会	於	農協
29日	長沼町農民協議会定期総会	於	農協

4月

1日	職員人事異動・新規採用職員辞令交付	於	農協
1日	子会社FAMO長沼職員人事異動辞令交付	於	農協
2日	アスパラ共選事業開始	於	共選場
4日	ながめま麦・大豆生産流通協議会 小麦起生期現地研修会	於	組合員宅
5日	第25回通常総代会	於	長沼町民会館
5日	監事会	於	農協
5日	理事会	於	農協
6日	浜中漁協女性部による特産品即売会	於	Aコーながめま店
8日	職員退職辞令交付	於	農協
8日	ながめま農協小麦採種組合 現地研修会	於	組合員宅
8~23日	全農新入職員研修3名受入	於	農協・農家実習
10日	監事会	於	農協
10日	理事会	於	農協
10日	職員歓送迎会(子会社)	於	農協

令和元年度 長期共済一斉推進のお知らせ

本年度、6月3日から6月7日までの5日間の予定で長期共済の一斉推進を行います。

農協職員が各戸を訪問し、生命保障プラン・自然災害に備えた保障(住宅・納屋・格納庫)プランを、皆様の目的・生活設計に合わせてご提案いたしますので、よろしくお願い申し上げます。